

# 週報 みえぎよれん

-浜に身近な話題をお届けする関係者向けミニ情報誌-

編集・発行

JF 三重漁連指導部

TEL:059-228-1205

FAX:059-225-4511

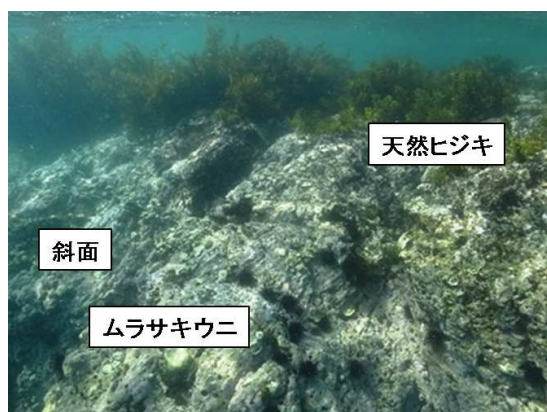
本紙は三重漁連ホームページ (<http://www.miegyoren.or.jp/>) での閲覧を推奨します (PDF ファイル)。

## 漁業者を中心としたヒジキ場再生活動 - 6/14 南伊勢町神前浦 -

6月14日(土)、南伊勢町神前浦地区で、三重大学生物資源学部の前川名誉教授などの協力を得て、ヒジキ場再生活動が行われた。

作業当日、朝から漁業者を中心とした45名が集まり、2ヶ所の漁場で磯掃除やハンマーなどを使ってカキやフジツボなどの除去作業を行った後、ヒジキの種まき作業を行った。

昨年に引き続き2回目となる今回は、当海域のヒジキ繁殖の阻害要因と考えられるウニによる食圧を抑えるために、合わせて、現場周辺のウニ駆除も積極的に行われた。



作業を終え、現場指導に当たった前川名誉教授は、「みんなのやる気が伝わってきてとても嬉しかった。今後も藻場再生のために一緒に頑張っていきたい。」と笑顔で話していた。

今後は、定期的なウニ駆除作業を行いながら生育状況をモニタリングしていく予定。



磯掃除・ウニ等の駆除作業



ヒジキの種苗

ヒジキの種まき

## 白塚漁師塾実施中

6月17日(火)、三重県水産研究所・三重県栽培漁業センター(志摩市浜島町)で白塚漁師塾の研修(三重県の水産研究編)が行われた。同塾は漁業者の減少や高齢化が進む中、意欲のある新規事業者の確保するために、昨年、同地区で着業した若手漁業者(19才)に対して実施しているもの。

当日は、水産研究所の歴史や概要の説明の後、各担当所員より赤潮の発生や6

次産業化への取り組みの講義や、魚のうろこから年齢を推定するなどの研修も行われた。栽培漁業センターでは、アワビの人口栽培やナマコの種苗を見学し、同センターの職員の説明に塾生は興味深く聞き入っていた。



### 簡易型 AIS(船舶自動識別装置)の普及推進のお願い

三重漁連では、相次ぐ漁船の衝突事故を未然に防止するために関係省庁や海上保安部などが普及を呼びかけている、簡易型 AIS (船舶自動識別装置) の普及に本格的に乗り出す。本体価格をできるだけ低く設定し、漁業者の負担を軽減するなどして広く普及させたい考え。

AIS 本体を設置すると自船の位置情報を他船舶へ知らせることができるため、AIS 使用が強制化されている大型船舶に発見されやすくなり、安全性が確実に向上すると期待される。

ただし、自船で他船舶の位置情報を知るためには GPS プロッターやパソコン、レーダーなどの機器が必要となる。

また、使用に際しては総務省への無線局の免許申請が必要となるため注意が必要。

製品および取扱い方法についてのお問い合わせは、三重漁連購販事業部資材課 (電話 0598-51-1556) まで。

### 全国で小型船舶に対する安全キャンペーンを実施！

国土交通省ではゴールデンウィーク前から夏季休暇期間中(H26/4/23～8/29)にかけて、警察、海上保安庁、日本小型船舶検査機構などの協力を得て、小型船舶(旅客船、プレジャーボート、漁船、川下り船)の安全キャンペーンを実施。

#### [主な実施内容]

- ①消防設備及び救命設備の適切な設置
- ②船舶検査の適切な受検
- ③小型船舶操縦免許の適切な受有 等

これから夏季のマリンレジャーシーズン・夏休みを迎え、船の交通量の増加が予想されるため、より一層の安全対策を心がけてください！

#### 【主な予定】

- 6月21 (土)
  - 三重県漁青連役員会 (松阪)
  - 三重県漁業士会・漁青連合同総会 (松阪)
- 6月26 (木)
  - 三重漁連第65回通常総会 (津市)

本文の無断転載・転用等は固くお断りします。